

労調協だより

労働調査協議会 「2015年度 定期総会」のご報告

会員各位におかれましては、定期大会などで日々ご多忙のことと存じます。

労働調査協議会「2015年度 定期総会」が、6月23日(火)にホテル ルポール麹町におきまして、会員各位のご協力により成功裡に開催され、今後1年間の活動方針を決定致しました。以下、総会の決定事項につきまして、ご報告申し上げます。今後とも、より一層のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本総会は、議長に林郷俊也氏（J P 労組 中央執行委員）を選出し、進められました。議事に先立ち、理事を代表して野中孝泰代表理事、小倉義和専務理事から挨拶がありました。その後、議案の審議に入り、事務局より2014年度の調査研究活動および組織・財政報告、会計監査の井上友孝氏（J E C 連合 組織政策局 局長）より会計監査報告が行われました。引き続き、事務局より2015年度の活動方針、役員選考委員（生保労連 労働局長 瀧澤正夫氏、政労連 中央執行委員 平山幸浩氏）を代表して瀧澤正夫氏より2015年度の役員改選がそれぞれ提案され、全議案とも満場一致で可決されました。最後に、新役員を代表して神津里季生理事から挨拶があり、議長挨拶をもって終了致しました。

【主な決定事項】

- (1) 調査研究活動の推進では、以下の点に重点的に取り組むことを提案し、承認されました。
 - ① 共同調査「第4回 次代のユニオンリーダー調査」の総括報告に向けた作業を、企画委員会などによる審議を通じて進め、機関誌『労働調査』で報告します。
 - ② 「第4回 次代のユニオンリーダー調査」に続く労調協が独自に取り組む調査研究テーマについては、事務局内で検討を進め、企画委員の協力を得ながら、企画委員会、理事会による審議の上、次年度以降の定期総会で会員組合に提案することになりました。
 - ③ 組合活動に役立つ調査に向けたユーザー・ニーズの的確な把握に、努めていくことになりました。
 - ④ ユーザー・ニーズに対応するデータ処理体制の整備を進めるとともに、変化する情報処理環境に合わせながら、労調協独自開発の集計・分析システムをカスタマイズしていくことになりました。
- (2) 会員組織の充実と拡大については、以下の点に重点的に取り組むことを提案し、承認されました。
 - ① 会員のニーズに的確に対応できる「コンサルタント」機能の充実を図るために、専門的な立場から積極的な協力体制を築いていくことになりました。
 - ② 労働組合間のネットワークづくりの一環として、共同調査あるいは同一テーマ等による調査をもとに、調査実施組合における「意見交換会」を開催することになりました。
 - ③ 事務局体制に関しては、継続雇用者の契約満了に伴い、新たな調査研究員の補充など次世代を見据えた調査研究体制の整備を図っていくことになりました。
 - ④ 「労働調査セミナー」、機関誌『労働調査』、「労調協ホームページ」の内容の充実を図り、情報発信機能を強化していくことになりました。
 - ⑤ 会員組織の拡大に関しては、理事会および事務局が引き続き会員組合各位の御協力をいただきながら、積極的に会員組織の維持・拡大に努めていくことになりました。

【2015年度新役員】

理事 連合 事務局長	神津 里季生	理事 自治労 書記長	川本 淳
理事 電機連合 書記長	野中 孝泰	理事 J P 労組 副委員長	増田 喜三郎
理事 情報労連 副委員長	高橋 政士	理事 事務局	小倉 義和
理事 基幹労連 事務局長	神田 健一	理事 事務局	加藤 健志

会計監査 J E C 連合 組織政策局 局長 井上 友孝
会計監査 全印刷局労組 参与 荒川 洋

「第165回 定例理事会」のご報告

総会終了後、引き続き「第165回 定例理事会」を開催し、代表理事として神津里季生、野中孝泰、高橋政士の各氏、専務理事として小倉義和を互選し、加藤健志を事務局長に選任しました。